

平成26年度

河川名	地点	水素イオン濃度			生物化学的酸素要求量			浮遊物質			溶存酸素量			
		PH		年平均	BOD		年平均	SS		年平均	DO		年平均	
		月	月		月	月		月	月					
神田川	久保前橋	5	8	8.0	5	1	1.4	5	3	2.8	5	10.4	10.5	
		9	8.2		9	1		9	1		9	10.2		
		11	7.8		11	2.3		11	4		11	9.6		
		2	7.8		2	1.2		2	3		2	11.9		
	高戸橋	5	6.9	7.1	5	1.8	1.6	5	2	1	5	8	8.2	
		9	7.2		9	1.1		9	<1		9	8.1		
		11	7.1		11	1.4		11	<1		11	7.8		
		2	7		2	2.2		2	3		2	8.8		
	妙正寺川	四村橋	5	7.3	7.5	5	0.9	1.0	5	2	2.3	5	9	9.5
			9	7.8		9	0.8		9	2		9	10.9	
11			7.5	11		1.1	11		3	11		7.9		
2			7.5	2		1.1	2		2	2		10.3		

各項目の解説

水素イオン濃度 (PH)

水の酸性、アルカリ性を示す指標。0から14の間の数値で表現されています。PHの数値が7だと中性、7から小さくなるほど酸性が強く、7から大きくなるとアルカリ性が強いことを表しています。

環境基準 6.5～8.5(C類型)

生物化学的酸素要求量 (BOD)

微生物が水中の汚れ(有機物)を食べる(酸化分析)時に必要とされる酸素の量をもって表したものです。値が大きくなるほど河川が汚れているということを表しています。

環境基準 5mg/l以下(C類型)

浮遊物質 (SS)

水中に浮遊している不溶性の物質。水の濁りの原因となる。光の透過を妨げ、河底に堆積すると河底の生物にも悪影響を及ぼします。

環境基準 50mg/l以下

溶存酸素量 (DO)

水中に溶解している酸素の量です。1気圧のもとで20度の清水には約9mg/lの酸素が溶け込みます。気圧、水温などによっても数値は変動します。また、日中、水中植物の光合成が行われるとDOは高くなります。

環境基準 5mg/l以上(C類型)